

2017年3月期決算説明会

代表取締役社長 両角正樹

2017年5月10日

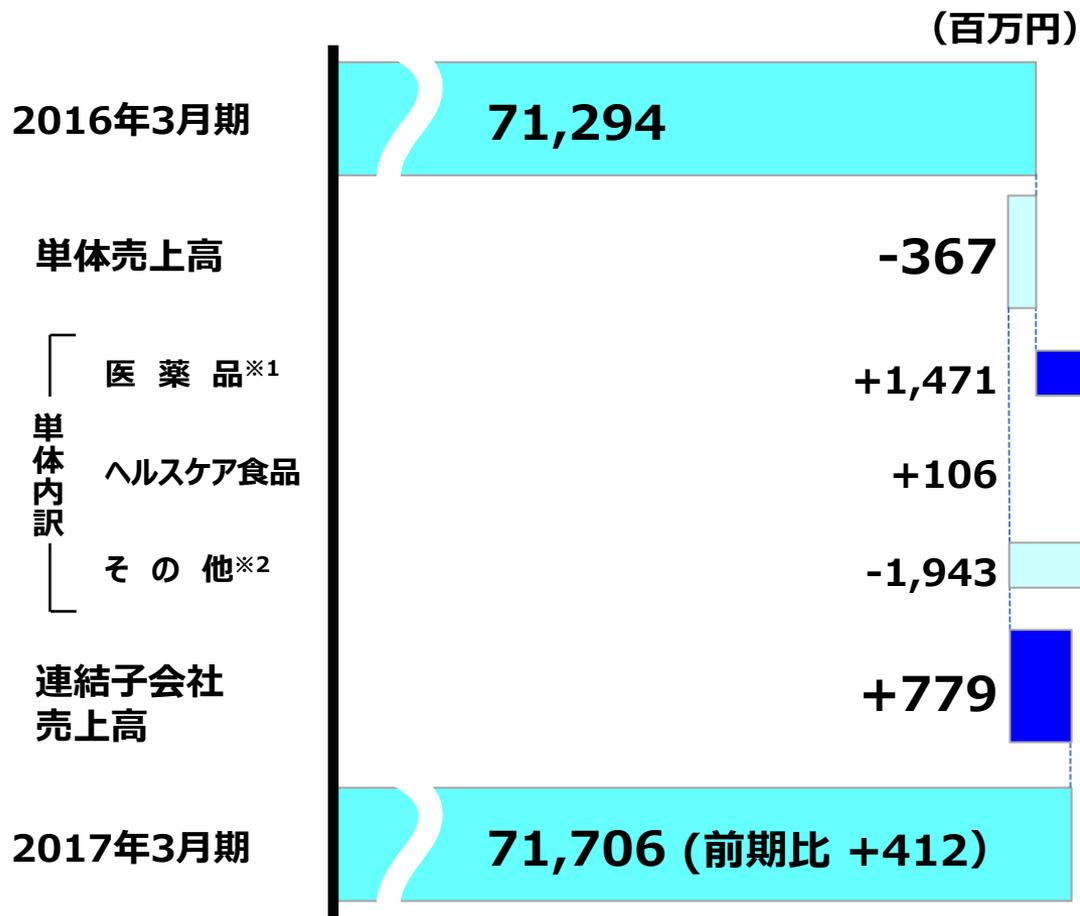
2017年3月期報告〔連結〕

	2016年3月期		2017年3月期			前期比	計画比
	金額 (百万円)	構成比	計画 (百万円)	実績 (百万円)	構成比		
売上高	71,294	100.0%	71,700	71,706	100.0%	0.6%	0.0%
(内キッセイ薬品単体)	(61,821)	(100.0%)	(61,700)	(61,454)	(100.0%)	(△0.6%)	(△0.4%)
売上原価	23,579	33.1%	25,100	25,075	35.0%	6.3%	△ 0.1%
(内キッセイ薬品単体)	(16,694)	(27.0%)	(17,700)	(17,700)	(28.8%)	(6.0%)	(0.0%)
売上総利益	47,714	66.9%	46,600	46,631	65.0%	△ 2.3%	0.1%
販管費	37,439	52.5%	37,400	38,140	53.2%	1.9%	2.0%
(内研究開発費)	(14,106)	(19.8%)	(13,000)	(13,877)	(19.4%)	(△1.6%)	(6.7%)
営業利益	10,274	14.4%	9,200	8,491	11.8%	△17.4%	△ 7.7%
(内キッセイ薬品単体)	(9,609)	(15.5%)	(8,500)	(7,670)	(12.5%)	(△20.2%)	(△9.8%)
経常利益	11,353	15.9%	10,000	9,638	13.4%	△ 15.1%	△ 3.6%
当期純利益※	8,165	11.5%	7,700	7,726	10.8%	△ 5.4%	0.3%
(包括利益)	(9,510)			(3,508)			

※当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」です。

補足資料 P5、6、9、10 参照

連結売上高の前期比較（実績）



増収要因

減収要因

・ピートル、ユリーフ、グルベス、ゴルフアストが伸長

・技術料売上、国内販売提携先への供給額が減少

・情報サービス業、物品販売業、建設請負業の全てが増収

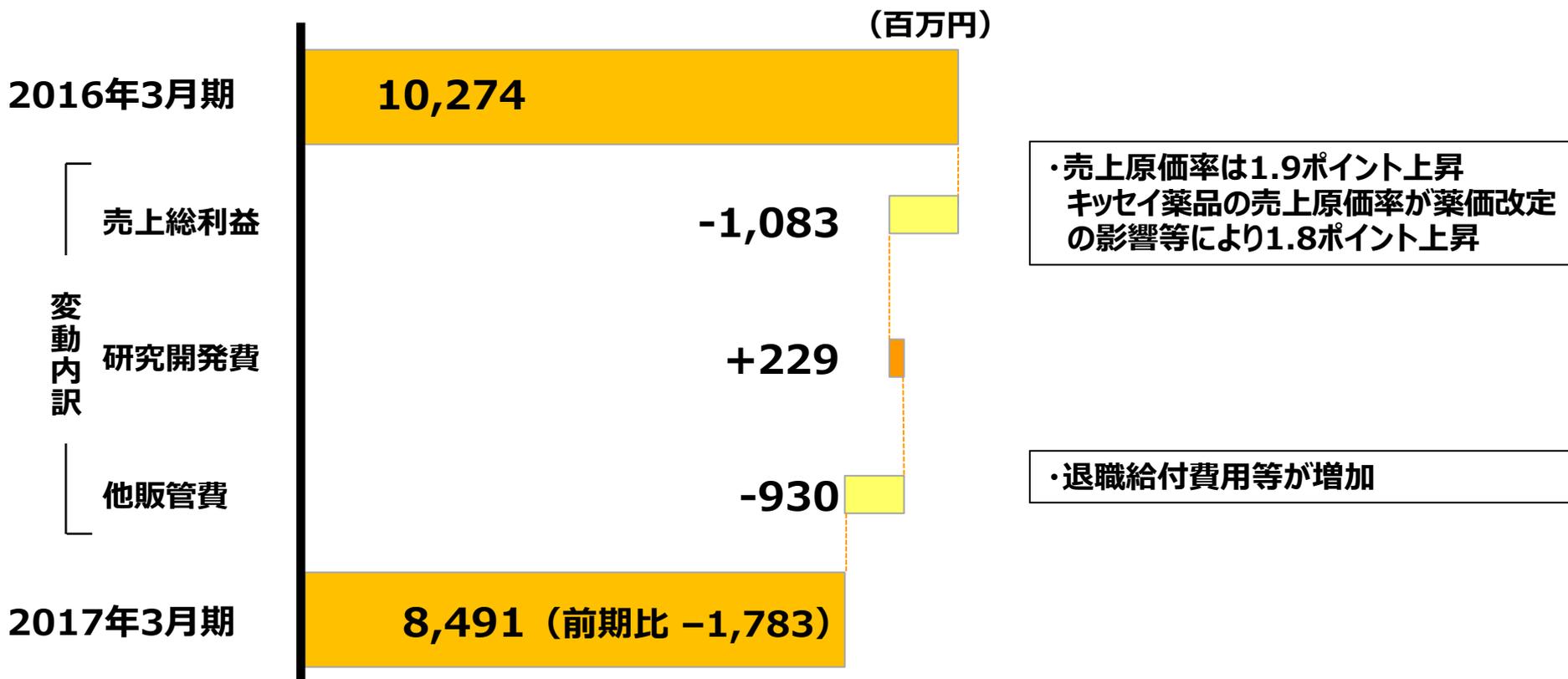
※1：原薬・バルク輸出含む

※2：技術料売上+国内販売提携先供給額

連結営業利益の前期比較（実績）

増益要因

減益要因



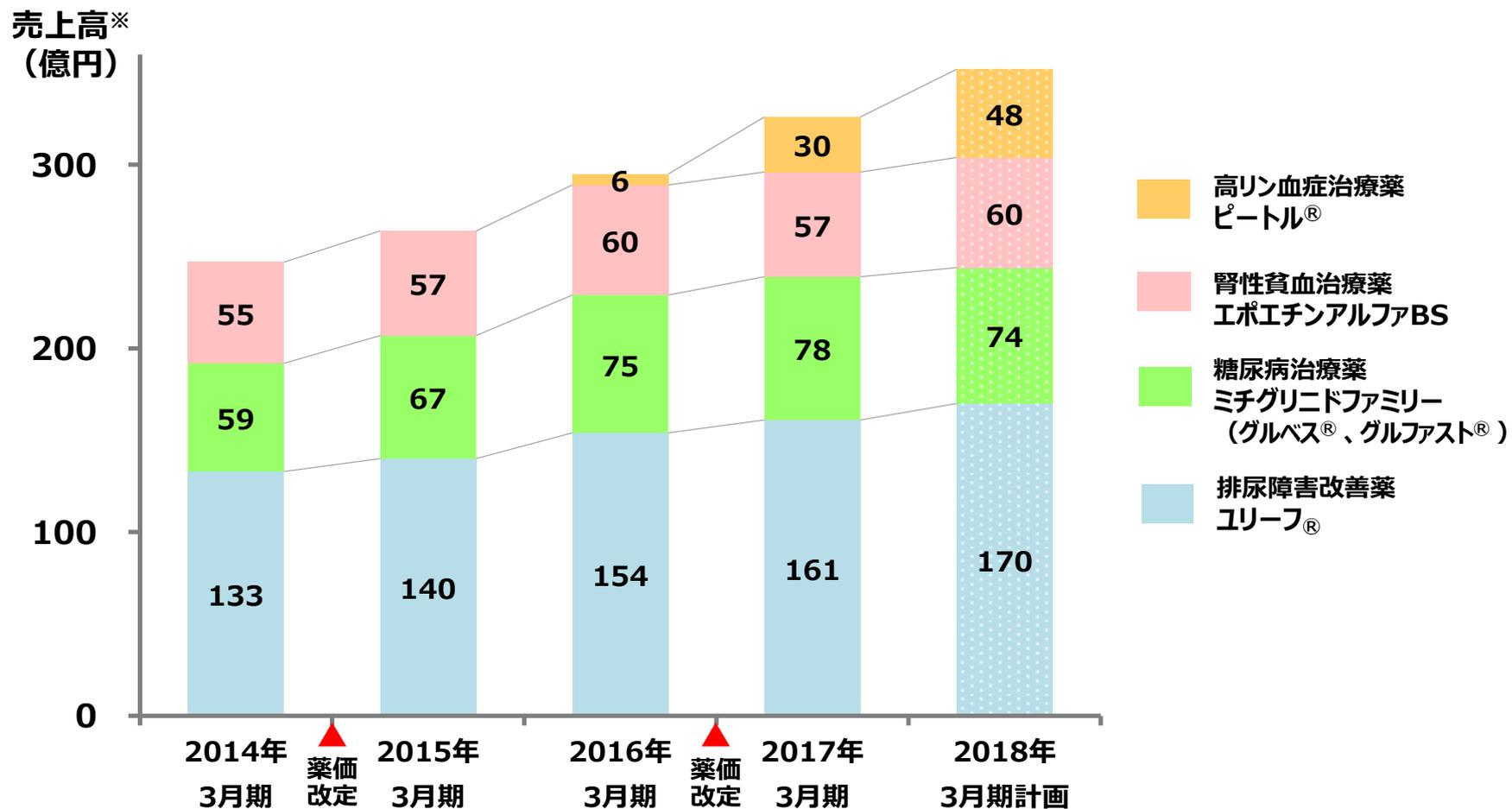
2018年3月期計画〔連結〕

	2017年3月期実績		2018年3月期計画		前期比
	金額 (百万円)	構成比	計画 (百万円)	構成比	
売上高	71,706	100.0%	73,200	100.0%	2.1%
(内キッセイ薬品単体)	(61,454)	(100.0%)	(62,500)	(100.0%)	(1.7%)
売上原価	25,075	35.0%	26,000	35.5%	3.7%
(内キッセイ薬品単体)	(17,700)	(28.8%)	(18,100)	(29.0%)	(2.3%)
売上総利益	46,631	65.0%	47,200	64.5%	1.2%
販管費	38,140	53.2%	38,200	52.2%	0.2%
(内研究開発費)	(13,877)	(19.4%)	(13,500)	(18.4%)	(△2.7%)
営業利益	8,491	11.8%	9,000	12.3%	6.0%
(内キッセイ薬品単体)	(7,670)	(12.5%)	(8,400)	(13.4%)	(9.5%)
経常利益	9,638	13.4%	10,000	13.7%	3.8%
当期純利益※	7,726	10.8%	7,800	10.7%	1.0%

※当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」です。

補足資料 P5、6、9、10 参照

主力品の売上推移



※ 決算ベース

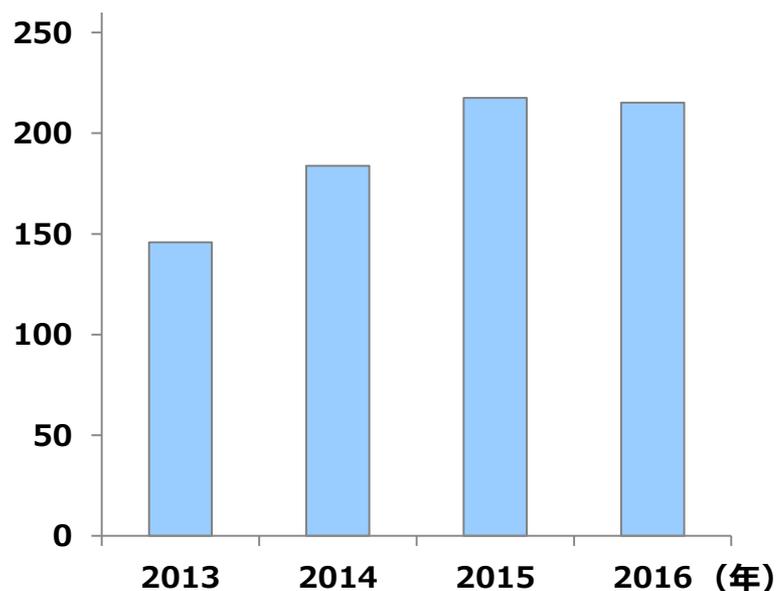
海外の販売状況（シロドシン：国内製品名ユリーフ®）

アラガン社 製品名：RAPAFLO®

- 2009年4月米国発売
- 販売国数 2カ国（米国、カナダ）
- 売上高 2億2,000万ドル（IMS）

RAPAFLO® 売上高推移（IMS）

(百万USD)



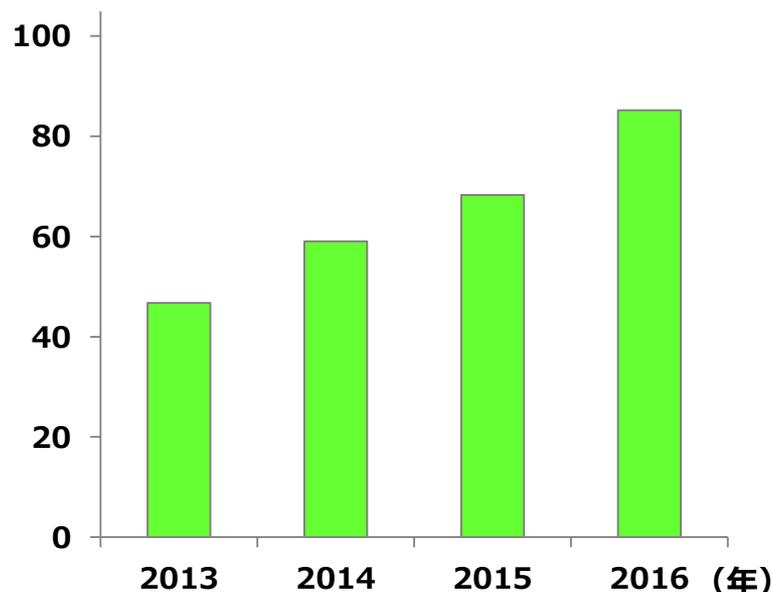
Copyright 2017 IMSヘルス
出典：MIDAS2013.1～2016.12をもとに作成
無断転載・転用禁止

レコルダッチ社 製品名：UROREC®/SILODYX™/SILOSIN®

- 2010年6月ドイツ発売
- 販売国数 35カ国（欧州、中東、アフリカ）
- 売上高 8,500万ユーロ（公表値）

UROREC®/SILODYX™/SILOSIN® 売上高推移
(レコルダッチ社 公表売上)

(百万ユーロ)



開発テーマの進捗状況

製品名/ 開発番号/ 一般名	予想される適応症	開発ステージ				
		P I	P II	P III	申請 準備中	承認 申請中
グルバス®	2型糖尿病（剤形追加：OD錠）	▶				
AJG511/ ブテソニド	潰瘍性大腸炎	▶				
KRP-114V/ ビベグロン	過活動膀胱	▶			▶	
KPS-0373/ ロバチレリン	脊髄小脳変性症	▶				
AJM300/ カロテグラストメチル	潰瘍性大腸炎	▶				
JR-131	腎性貧血	▶				
KLH-2109	子宮内膜症、子宮筋腫	▶				
MR13A9	透析患者におけるそう痒症	▶				
YS110	悪性中皮腫	▶ P I / II				
KDT-3594	パーキンソン病	▶				

※緑色は前回決算説明会（2016年11月）からの変更部分

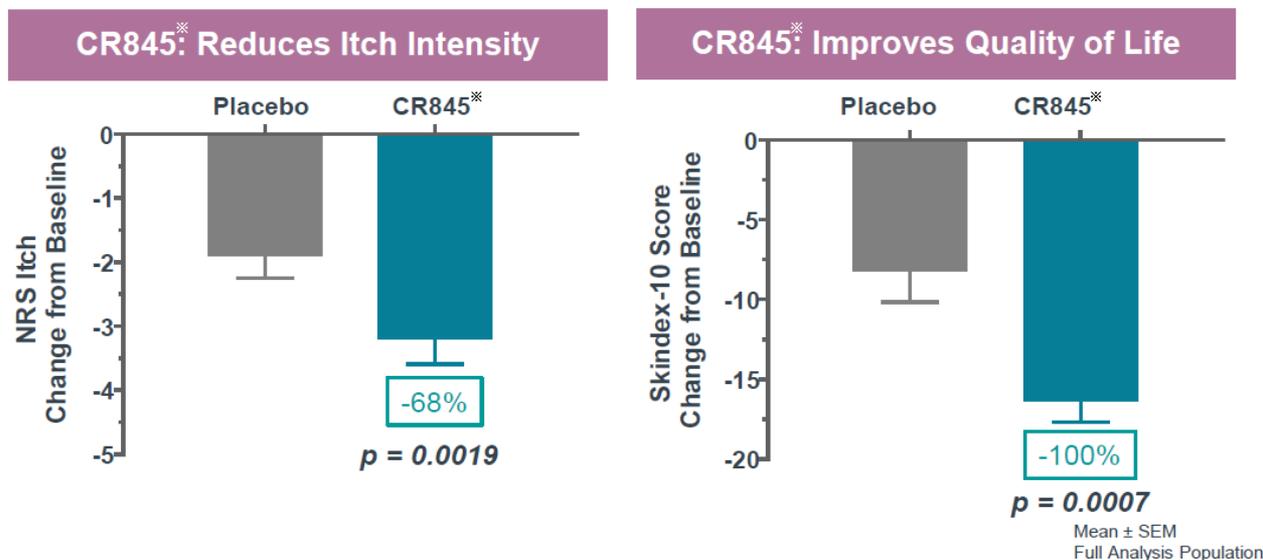
補足資料 P11参照

κオピオイド受容体作動薬 MR13A9

- ✓ 2017年3月に丸石製薬より導入
- ✓ 透析患者におけるそう痒症での第Ⅱ相臨床試験を実施中
- ✓ 米国で Cara Therapeutics, Inc. による第Ⅱ / Ⅲ相臨床試験が進行中

海外 P Ⅱ / Ⅲ 臨床試験結果 : 各評価スケールのベースラインからの変化

Demonstrated efficacy in reduction of itch (NRS) and improvement in Quality of Life (Skindex-10) at end of the 8 week treatment period

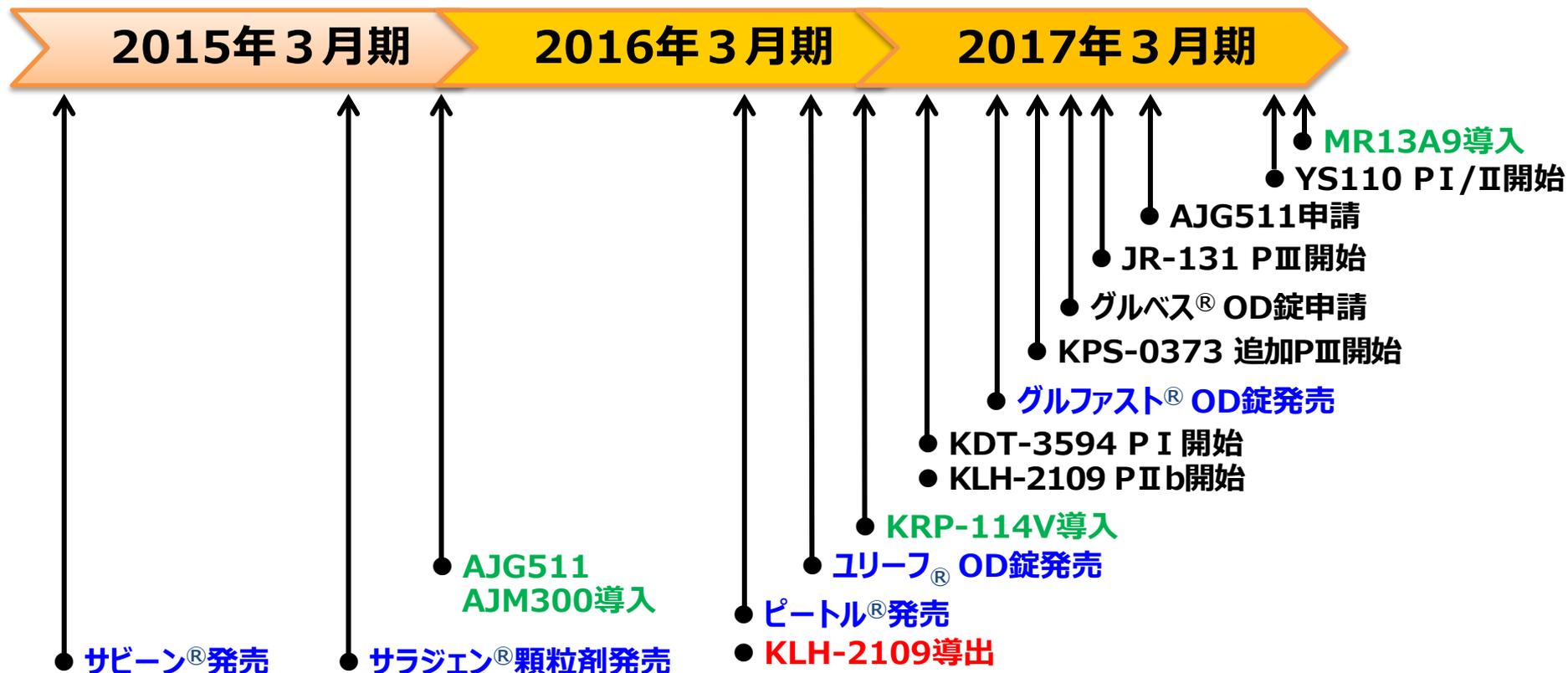


出典 : Cara Therapeutics, Inc.
CR845 Uremic Pruritus Phase 2/3 Data Conference Call (2017/3/28)

※ CR845 : MR13A9の米国Cara Therapeutics, Inc.の開発コード

前中期経営計画 PROGRESS 3 実績

新製品発売／開発ステージアップ／ライセンスイン・アウト



前中期経営計画 PROGRESS 3 計数実績

	PROGRESS 3 目標	最終年度（2017年3月期） 実績
連結売上高	705億円以上	717億円
単体売上高	610億円以上	614億円
医薬品 ^{※1}	473億円以上	510億円
ヘルスケア食品	43億円以上	38億円
その他 ^{※2}	94億円以上	65億円
連結営業利益	95億円以上	84億円

※1：原薬・バルク輸出含む

※2：技術料売上＋国内販売提携先供給額

新中期経営計画 Co-Creation

2017.4 ~ 2022.3

— くすりを創る、価値を創る、未来を創る —
共に創る

中期経営計画 Co-Creation

経営環境が激変する中で将来の安定成長を図る5カ年計画

	好機	問題・課題
外部要因	医療ニーズの多様化 Unmet Medical Needs(UMN)の顕在化 AMEDなどによる新薬創出支援政策	国内外医薬品市場の構造変化 新薬シーズの枯渇 研究開発リスクの増大
内部要因	PⅢ以降の新製品6テーマ 泌尿器、腎・透析領域でのプレゼンス確立	シロドシン（ユリーフ [®] ）物質特許満了の克服 創薬研究の生産性向上

最終年度（2021年度）計数目標

● 連結売上高	730億円以上
単体売上高	610億円以上
┌ 医薬品※1	505億円以上
└ ヘルスケア食品	45億円以上
└ その他※2	60億円以上
● 営業利益	65億円以上
● 研究開発費	130億円

※1：原薬・バルク輸出含む

※2：技術料売上+国内販売提携先供給額

Co-Creation 基本方針

【経営ビジョン】

世界の人びとの健康に貢献できる独創的な医薬品を開発し
提供する創薬研究開発型企业を目指す

I. 創薬研究の強化

II. 製品ポートフォリオの拡充

III. 国内医療用医薬品売上の最大化

IV. 安定的な海外収益基盤の構築

I. 創薬研究の強化

独自性・競争優位性
の高い創薬

泌尿器、腎・透析領域

UMN

ドラッグ
デザイン

- ✓ 構造生物学
- ✓ タンパク質科学
- ✓ 計算化学 (in silico)

スクリーニング

- ✓ 迅速性
- ✓ 高精度
- ✓ 的確性

新技術の
取り込み

- ✓ オープン イノベーション
- ✓ 専門性の深化

Ⅱ. 製品ポートフォリオの拡充

- ◆創薬研究・開発体制の強化
- ◆研究・開発プロジェクトの推進
- ◆領域戦略に沿ったライセンスイン

泌尿器、腎・透析領域	
UMN	
	現在
申請中	AJG511 (潰瘍性大腸炎)
	グルバス®OD錠
準備中	KRP-114V (過活動膀胱)
PⅢ	JR-131 (腎性貧血)
	KPS-0373 (脊髄小脳変性症)
	AJM300 (潰瘍性大腸炎)
PⅡ	MR13A9 (透析患者におけるそう痒症)
	KLH-2109 (子宮内膜症、子宮筋腫)
PI/II	YS110 (悪性中皮腫)
PI	KDT-3594 (パーキンソン病)



中計最終年度(2021年度) 末までの目標	
上市・承認	KRP-114V JR-131 MR13A9
	KPS-0373 AJG511 AJM300
	グルバス®OD錠
(承認申請中を含む) 臨床試験段階	YS110
	KLH-2109 KDT-3594 アフリベルセプトBS (加齢黄斑変性症)
	PRX302 (前立腺肥大症)
	新規創薬テーマ群
	新規導入テーマ群

Ⅲ. 国内医療用医薬品売上の最大化

- ◆販売資源の戦略的配分
- ◆重点領域でのプレゼンスの確立

既存製品

中計期間中に上市予定のテーマ

泌尿器

排尿障害改善薬
ユリーフ®

前立腺肥大症治療薬でのトップブランド確立

過活動膀胱治療薬
KRP-114V

腎・透析

高リン血症治療薬
ピートル®

両剤のシナジー発揮による市場拡大

腎性貧血治療薬
エポエチン
アルファBS

透析患者のそう痒症治療薬
MR13A9

腎性貧血治療薬
JR-131

糖尿病

糖尿病治療薬
グルベス®

糖尿病治療薬
グルファスト®

UMN

脊髄小脳変性症治療薬
KPS-0373

潰瘍性大腸炎治療薬
AJG511 AJM300

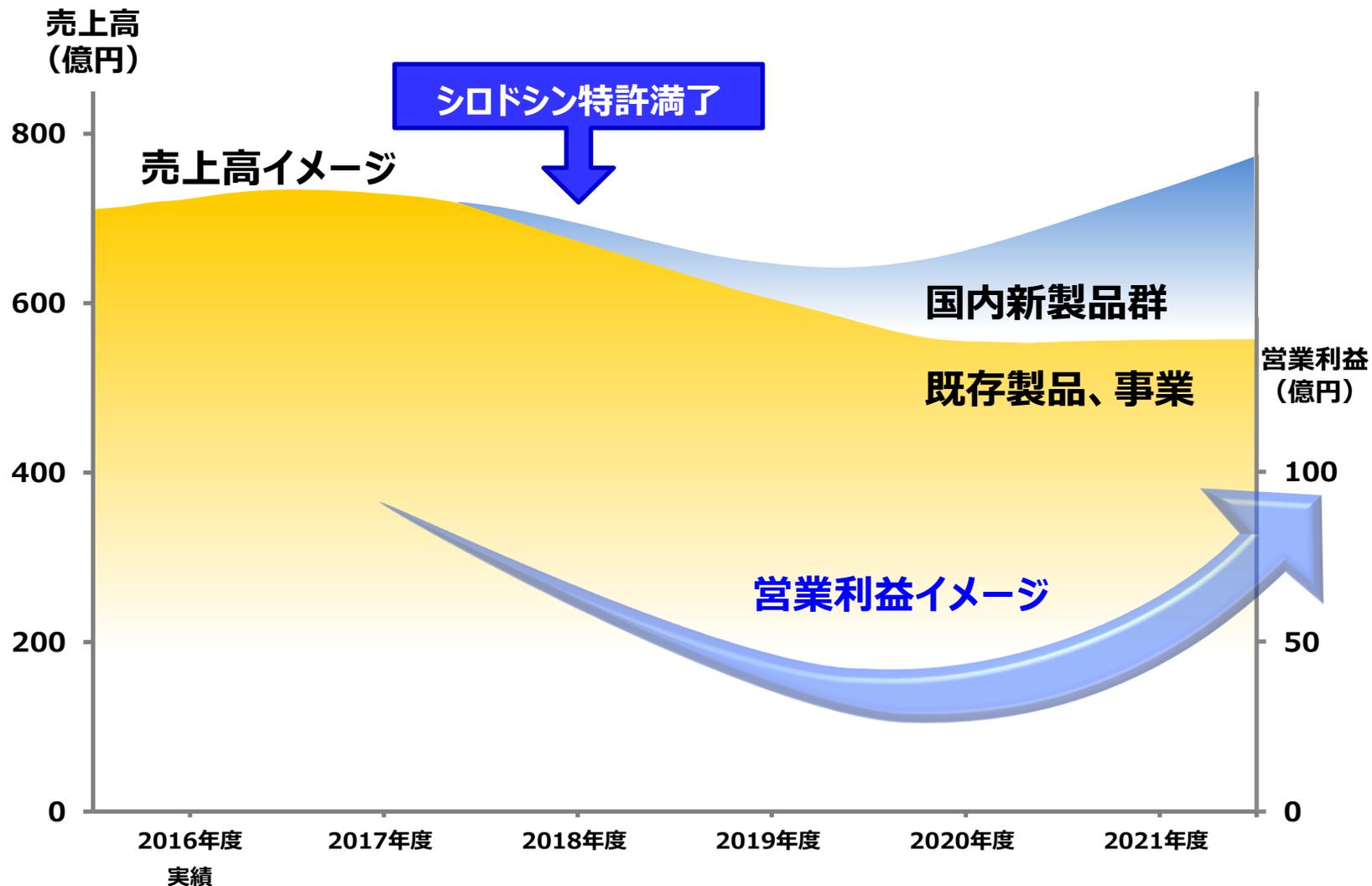
IV. 安定的な海外収益基盤の構築

- ◆新規創薬テーマのライセンスアウト
- ◆シロドシンに次ぐ将来の基盤構築

GnRHアンタゴニスト KLH-2109

- ✓ 予想される適応症：子宮内膜症、子宮筋腫
- ✓ オブシーバ社（スイス）にライセンスアウト（海外開発コード：OBE2109）
- ✓ 各臨床試験が欧米で進行中
 - ・ 子宮内膜症を適応とする後期第Ⅱ相臨床試験
 - ・ 子宮筋腫を適応とする第Ⅲ相臨床試験

業績の見通し（連結）



株主還元

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
1株当たり 配当額	36円	38円	40円	42円	44円	46円	48円 (予想)
自己株式の取得 (取得株式数)	43億円 (280万株)			79億円 (254万株)		16億円 (61万株)	
自己株式の消却 (消却株式数)					54億円 (260万株)		

明日のいのちの為に。
くすりの未来を切り拓く。



本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2017年5月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。